



拓 (ひらく)

第136号 2024・8・12

HP : kangodounion.org

Email : hyogounion@k8.dion.ne.jp

関西合同労働組合
教宣部

〒653-0021

神戸市長田区梅ヶ香町2-5-2

電話 078-652-8847

7・14第31回定期大会報告

関西合同労働組合は7月14日、西宮市立勤労青少年ホームにおいて第31回定期大会を開催しました。はじめに石田副委員長の開会宣言があり、議長に大阪支部大豊運輸倉庫分会の平井伸一さん、書記にサポート組合員の蒲牟田桂子さんを選出。大会に寄せられた各組合、個人からのメッセージの中からおおさかユニオンネットワークの「共に労働運動の発展を」とのメッセージが議長から紹介されました。大阪支部細見鉄工分会の枝村さんから大会は成立しているとの資格審査の発表があり、大会の議事進行しました。

第1号議案「総括」の提起・討論



第1号議案「総括」の本部提起を佐々木委員長が行いました。「パレスチナ・ガザ地区でのイスラエル軍のジェノサイドが止まらない、イスラエ



ル軍は多数の避難民がいるところを狙って攻撃している。一刻も早い停戦を」「能登半島地震の被災者は置き去りにされている。復興を最優先に」と訴えました。24春闘の取り組み、神菱エンジニアリング、サンドプラン、大豊運輸倉庫の裁判闘争、坂本歯科医院の四つの争議・案件の報告、毎年実行委員として取り組んでいる中之島、京都地域、あまがさきの3つのメーデー



を始め昨年の闘いを総括し、「積極的に労働相談に取り組み、組織拡大によって財政再建を、執行部の世代交代で関西合同労働組合を発展させよう」と提起しました。

続いて大阪支部総括を宮崎執行委員が行



い、大阪支部各分会の取り組みを報告し、おおさかユニオンネットワークでの活動、連帯労組関生支部湯川委員長への懲役1

0年の求刑という超重刑攻撃との闘い、工場閉鎖攻撃と闘う韓国オプティカルハイテックの親会社・日東電工株式会社への抗議闘争を通した日韓連帯の取り組みなどが報告されました。

東大阪担当米村執行委員からは、新分会へスタオークラハウジング分会の雇止め解雇との闘いに勝利したこと、外国人技能実

習生、入管法改悪との闘いの報告などがありました。

続いて京都・滋賀支部総括で塚本執行委員が今大会をもって退任し、今後はきょうとユニオンの

執行委員として、また自治労全国一般滋賀ユニオンの副委員長として滋賀の労働運動の発展に尽力することが報告されました。

総括の最後に石田副委員長から兵庫支部各分会の取り組みの総括と、社会的労働運

動の取り組みとして市民デモHYOGOでの活動が報告されました。

質疑・討論では神戸ヤマト分会か

ら「2024年問題が始まった。仕事内容が変更され1日12時間、3~4時間の残業となっていた。運輸労連の36協定では79時間で協定だったが、本体のヤマトが40時間/月の残業で動き出し2交代が3交代制になった。残業時間がカバッと減ってしまって、残業を含めて生活できる賃金だったのが「平成」26年から賃金が減らされ続け、ここに来てガラッと変わった。「子育てがやっていけない」と辞めていくドライバーが多く、私たち壮年は潰しが効かない。「何か対策はないか」と社内ユニオンの委員長や、労連の委員長も呼んで社長と直談判した。「早く残業時間を40時間に収めて、補てん分を年末一時金、来年の春闘で交渉する」との回答があった。交渉時はよろしくお願いします。」兵庫支部の伊波組合員は「労働運動一辺倒では衰

退していく。平和な社会があつてこそ労働運動は成り立つ。今の若い人は労働運動にあまり関心を示さない。『車の両輪』とし





て市民運動は大切。」

執行部からの答弁。

「8時間働いて生活で
きない賃金こそが問
題、ひとり神戸ヤマ
ト分会だけで解決で
きる問題ではなく労
働運動総体を強くし
ていくなかで解決し
ていく必要がある。」

「ユニオンネットワー
ク、市民デモHYOGO、
統一マダン、ハナマ

ダンなど取り組んできたが、なかなか運動
総体を大きくするには至っていない。労働
運動一辺倒ではなく、社会運動とも連携し、
ウクライナ、パレスチナ反戦なども市民、
労働者、学生たちと一緒にこれからも取り
組んでいきたい。」

第2・3号議案の提起と討論

第2号議案「私たちをとりまく情勢」の提
起を石田副委員長が行い、「4点提起した
い。①平和の問題抜きに、労働者の雇用・
生活・権利は守れない。気候変動、コロナ
パンデミックなど国際連帯で解決しなけれ
ばならない問題。②「万国の労働者は団結
せよ！」を確認すること③労働者全体の生
活・雇用・権利を守る闘いに立ち上がる。
実質賃金の低下、2024年問題、パワハラ問

題などの解
決のために
ストライキ
を武器に立
ち上がろう。
④労働運動
への弾圧と
闘おう」と
提起しまし
た。

第3号議案「方針」が蒲牟田書記長から。

「次世代執行部形成への挑戦を。最低賃金
を今すぐ1500円に。正規・非正規の分断の
打破、青年労働者の獲得を。全国の闘う労
働組合とのネットワーク・地域の市民運動
との共闘を作り出そう。」との方針と共に
「闘争資金財政の更なる強化を」として争
議解決時の解決金カンパを獲得総額の15%
以上を基準とすることが提起されました。

質疑・討論では

兵庫地域分会の石
川組合員「日本は
侵略戦争の反省も
できずに今がある。
労働組合として声
を上げられない現
実の原因の一つ。
そういう闘争では組
合員が会社から訴
えられた、自分も
訴えられるんじや
ないかと言う怖さ
の中で組合活動をやっ
てきた。これが実態
であると考えている。これを何とかする
ことで光は見えてくるのではないかと思う。」



サポート
組合員の岩
澤さん。

「正しいこ
とを粘り強
く若い人た
ちに訴えて
いくことが
重要。」



執行部か
ら答弁。

「若い人た
ちはSNSから情報を得ている。ここに噛みこ
むこと重要。労働運動の必要性を訴えるこ
とをみなさんと共にがんばっていく。」



財政改善に向けた意見

第4号議案「会計」、第5号議案「予算」の提起後、枝村会計監査から「闘争積立金財政の抜本的な改革が必要」との勧告が出されました。



質疑・討論では兵庫地域分会の松岡組合員から「印刷機が老朽化しているとのこと、これに対する予算はどうなっているのか？」執行部から答弁「印刷機を単色機にすれば70万円くらい、NPO長田などと基金を立ち上げこれを頭金にしてローンを組

むことも考えている。コピー機も老朽化している、これについては家庭用の複合機の安いものを購入することなどを考えている。」「事務所、車両の維持費は必要。財政が厳しいのは組合員が減少しているから。名刺ビラを活用して組合の拡大に協力をお願いしたい。相談は増えている、解決金カンパを獲得総額の15%以上にして財政改善に充てたい。お米など組合で物販することも考えている。」



松岡組合員「解決金カンパの10%、15%は安すぎる。組合費は他労組の半分から3分の1にアップを検討すべき、今までの踏襲はアカン。世間の金銭感覚を考えるべき。」執行部から答弁「組合費

を上げることについては執行委員会で議論したが、今の組合員の現状では厳しい。入会金3000円の新設を提案した。解決金カンパは獲得総額の10%から15%以上とした。

「以上」となっているので、可能な限り求めたい。これからの方策については松岡さんの意見も反映させていきたい。」

スト権確立、新執行部を選出

この後、第6号議案「規約改正」で3000円の入会金の新設、特別決議①「イスラエルの残虐行為を許さず、即時停戦を求める」②「沖縄における米軍兵士の女性への性暴行事件に抗議する」を採択。通年スト権の確立が報告されました。

大会議事の最後に役員選挙を行い新執行部が選出され、佐々木委員長が新役員を代表して「組織拡大に全力を尽くす」とあいさつ、団結ガンバローで大会は締めくくられました。



ビデオ上映、懇親会を開催

大会後に懇親会が開かれビデオ『労組と弾圧～関西生コン事件を考える～』を上映し、参加者が発言した。「ビデオを見て、逮捕、拘留されてもそれをはね返していくのはすごいと思う。今後も一緒にがんばっていきたい。」「関生弾圧のことが良く判った。」「今の世の中は黒でも権力者が白と言ったら白になる。自分の職場では、3月に入社したが国から(5ページ下段に続く)

職場からの通信

坂本歯科医院・Kさんの報告

この度、歯科衛生士として20年ほど勤務していた歯科医院の院長より不利益変更（朝の時間の勤務から夜の時間の勤務時間）を提案され困っていた所（これまで夜の時間で働いていた人は同様のパターンで退職させられていた）、労働組合に相談したらどうかと教えて頂き、相談させて頂きました。

短期間の間で相談にのって頂き、今まで精神的にきつい状態での勤務だったのですが、労働組合の法律的に強い立場の方のおかげで今まで通りの勤務で働き続けることが出来ています。本当にありがとうございました。

担当執行委員より補足

数年前に同年代の歯科衛生士が退職に追い込まれていることから、「若い人との人員の入れ替え」が目的かと思われる。

使用者側弁護士がしっかりとしていて、単純に使用者の後押しをするのではなく、院長に的確なアドバイスを行ってくれたこともあって、1回目の団交で、配転や退職勧奨まがいの言質を撤回した。おかげで、現職

での継続雇用を実現した。雇用を守れたということが、非常に貴重であった。

神菱エンジニアリング、サウンドプランに続く、パワハラケースに近いが、前2者が争議も辞さないねばり強い団交後、“金銭和解”+「円満退職」だったのに対して、組合員として職場に残る数少ないケースだった。今後、労働条件向上の交渉をどれだけ行いうるかが課題である（相談に来たときは万一解雇の場合に退職金の有無もはっきりしなかった）。これまで職場ミーティングもなかったのが、院長が2回おこないコミュニケーションがとれてよかったとの当該からのうれしい報告がきている。

団交に参加しての感想

6月20日神戸で行われた団体交渉に半休を取って参加させてもらいました。当該が働き続ける意思をはっきりと持っていたことが良い解決につながったと思います。また、院長が言った言葉を当該が誤解していたところも少しあったのではないでしょうか。

しかし獲得目標は100%達成できました。これからも良い職場を作れるよう組合としても支えていきたいと考えています。
(佐々木)



(4ページからの続き) 支給されている介護労働者の待遇改善手当が支給されなかった。世の中には精神疾患になりやすいタイプの人気がいて、自分もそうだと思っているが、発症する、しないは世の中のことが分かっているかどうかが関係あると思う。まだ勤めて4ヶ月ですけどこれからもがんばっていきたい。」などの意見が出されました。



兵庫県庁で大変な問題が起きている。

■Y西播磨県民局長が斎藤知事の<公職選挙法違反・地方公務員法違反><贈収賄><公金横領・公費の違法支出(阪神オリックスパレード財源での公金のキックバック問題)><暴行罪・傷害罪(当該提訴があれば)>等を告発したが、斎藤知事を先頭に県当局が、もみ消しにかかり、その過程で、当該県民局長だけでなくパレード担当の元総務課長が自殺してしまった。県庁は一大騒動となつた。51年ぶりの<百条委員会>が開催され、7月19日には200名の県民が県庁を包囲、県民による斎藤知事は辞任しろの運動が起きている。

■公益通報者保護法、公益通報制度は、会社や組織の違法行為を通報する労働者を守るために大切な法律・制度であつて、志賀・京都支部では、イオンではパワハラめぐる交渉で店長の謝罪を勝ち取り、ヤマト運輸では荷物事故めぐる交渉で進展があつた。労働運動にとっても大切な制度であるので、組合員は、ニュース等で成り行きを注目して制度・法に対する正しい知識を持ってほしい。

■振り返ると
・3・12

(西播磨県



民局長が) マスコミ、県警、県議に匿名の告発文書を配布。

・3・25 副知事と人事課長が人物を特定、西播磨県民局に乗り込み局長のPCを押収。

・3・27 人事課が局長を解任 4日後の退任を取り消し。

斎藤知事が「事実無根」「嘘八百」「第三者による調査はしない」と記者会見。

・4・1 局長「告発内容は事実」と反論文書

・4・2 斎藤知事「公益通報に該当していない」と発言。

・4・20 阪神・オリックスのリーグ優勝パレードを担当の元総務課長が自殺。県は3ヶ月間公表せず。

・5・7 西播磨県民局長に対し停職3ヶ月の懲戒処分

・7・7 局長「死をもって抗議する」と自殺。

・7・19 局長の証人尋問予定の百条委員会

■問題は、25日に県民局長のPCを押収した人事課が県民局長の事情聴取を行わずに、局長解任の事実上の処分を行つた事である。公益通報者保護法では、通報先として①事業者内部 ②権限を有する行政機関 ③その他外部通報先 が規定されており、局長は報道機関、県警、県議に通報しており、外部通報機関として保護されなければならない。また、法律は顔名に限定せず、匿名通報でも保護の対象となる。したがつて、斎藤知事の「公益通報に該当していない」は全く公的通報制度に対する無知・破壊・暴挙以外の何ものでもない。斎藤知事はもみ消し含め2重の犯罪行為を行つていると言える。

■斎藤知事の辞任はおろか、この兵庫県政の「政治と金」に関わる不正・腐敗を根本から正す県民の不断の努力なくして民主主義の回復はない。同時に兵庫県が、全く公益通報制度を理解せず、民主主義の破壊行為を行つていたことをただし、公益通報制度の真の回復が喫緊の課題である。

さらに言えば、局長のPCにあったプライバシーに関わる記録を人質に、維新議員・公明議員が百条委員会設置に反対したり局長への圧力をかけた事実(これも公益通報者保護法違反)等も徹底的に追及されねばならない。

ミニ写真展

『父の故郷、沖縄のシーミー祭りに帰って』



この4月、沖縄本島（西原村棚原）へ
清明祭（ウーシミー、お墓まいり）に参加するため帰省しました。（私は沖縄出身3世）
沖縄では、見えない存在に感謝し、神様や祖靈と食事をする慣習が残っています

昔から島民は自然の恵みに生かされてきて光や土、風や海を大切にしてきた、また一方で、台風の被害や重税や戦争で苦しめられてきた歴史がある、だからこそ命を支えてくれるあらゆるものに感謝する行事が残っています

清明（シーミー）は旧暦の24節気で、万物が清らかに生き生きする春季をいいます。梅雨入り前で天候は不安定ですが、草木花が溢れんばかりに勢いづく季節もあります。
月桃（げっとう）、アカバナ（ハイビスカス）の花が咲きはじめるこの頃、色ずく島の原風景に癒されながら旅をしました。

生前に精吉叔父（棚原出身）から人間の魂は永遠だよ教えてもらい、壮絶だった戦争体験の話も聞いていましたが、現在は、戦後の復興で那覇周辺はすっかり都市化しコンクリートの建物ばかりです。近代化した街並みを歩いてみて、長い時間の移り変わりを感じながら、何か複雑な気持ちになりました。

一方で、現在沖縄経済は、観光・公共事業・基地収入の3本柱で成立っています。ですが、沖縄本島全体の約15%が米軍基地で、在沖米軍兵士による事件・事故は依然発生しており、辺野古基地問題も解決の糸口が曖昧なまま、埋立ては強行的に進められています。そして、巨額の公共事業で県内の建設業は潤ってきて、中部、南部はどこも埋立地だらけ、この贅沢な公共事業は貴重な自然環境を破壊し思わぬ弊害を生み出しています。

また、新型コロナ感染対策では、医療機関不足・飲食店は対策防止不備が露呈し観光産業は大打撃を受けました。

島民の生活実態調査では、貧困率は全国平均の2倍、1人あたりの所得は全国最下位、全国1離婚率が高く子供の貧困化が深刻化しつつあり、若年者の失業率も4%以上あり全国1位です。

この様な社会問題を抱つつも、島民の人びとは生き生きと逞しく生活をしています。

そして、現状社会の向こう岸、叔父さんに教えもらった沖縄の歴史や文化を振り返る帰路、道ゆく心の風景や島の精霊達は、陽春風（うずりんべー春の風）に吹かれながら、魂の声を響かせていたのです。

令和6年8月吉日

工・S

当面のスケジュール

- ・8月10日（土）～18日（日）
伊波恵司ミニ写真展～沖縄のシーミー祭りに帰って～
杭瀬中市場 たまれる吉本屋二号店
- ・8月23日（金）
狹山事件を知る入門のお話し 狹山再審を求める市民の会・神戸 斎藤成二さん
18時 尼崎市立小田北生涯学習プラザ
- ・8月23日（金）
ハナマダンあまがさき実行委員会
19時30分 韓統連兵庫事務所
- ・8月25日（日）
第233回第三師団・防衛省申入れ行動
10時30分 陸自第三師団西門
- ・8月25日（日）
祝園弾薬庫問題を考える夏の大学習会
14時 精華町むくのきセンター4F
- ・8月30日（金）
おおさかユニオンネットワーク
第35回総会
18時30分 エルおおさか
- ・9月12日（木）
関生支部弾圧京都事件・最終意見陳述
10時 京都地裁
- ・9月22日（日）
杉原浩司さん講演集会
14時 PLP会館
- ・9月23日（月・休）
老朽原発うごかすな！高浜現地集会
13時 キャンパスプラザ京都
- ・9月29日（日）
万博破産、兵庫県知事パワハラ、終焉
を迎えた維新政治 西谷文和講演会
14時 尼崎中小企業センター



編 集 後 記

▼ 今

号は第31回定期大会特集号としてお届けします。記事が結構長いですが、大会に参加できなかった組合員・サポート組合員のみなさんに少しでも雰囲気をわかつても

らいたくて書きました。ご批判お待ちしております。また拓・HPへの投稿もよろしく。
▼猛暑日が続いています。私もいつも服用している降圧剤が効きすぎ、低血圧もあって職場で二日続けてダウンしてしまいました。くれぐれもみなさんご自愛ください(S)

韓国オプティカルハイテック労組との日韓連帯闘争・・6・21日東電工株主総会

■6月21日、日東電工の株主総会に対して韓国オプティカルハイテック労組の支援闘争が取り組まれた。株主総会が開かれているグランフロント大阪ビル前に、おおさかユニオンネットワークはじめ、多くの労組・労働者、市民が結集した。

■日東電工の100%子会社・韓国オプティカルハイテックでは、2022年10月に工場火災が起こった。日東電工は火災保険金を受け取りながら工場は閉鎖し、機材は韓国の別の子会社に移し、労働者を全員解雇した。韓国オプティカル労組の11名は、日東電工に対して話し合いを求め、雇用の継承を訴えている。11名の仲間の内8名が来日、3名が組合籠城、高空籠城（建屋屋上）「勝利するまで降りない」と争議の解決を求めている。

■会場前では、支援労組のアピール、韓国オプティカルハイテック労組のパフォーマンス、シュプレヒコールなどがくりかえされた。特に、パフォーマンスのなかで、「雇用継承なくば死あるのみ、私たちは最後まで闘う！」という横断幕を広げ、来日した8名が「ダイ・イン（死者となって抗議する意）」を行った。強い決意を表明

だ。

■多くの連帯の挨拶に続いて、関西合同労組からも、宮崎執行委員が解雇撤回、日韓連帯の力で勝利するぞ！の挨拶をおこなった。

■日東電工株主総会に出席した韓国オプティカルハイテック労組支援する会の仲間から会場でのやり取りの報告があった。

会社は「雇用の継続と来日した韓国の仲間との話し合いを求めたが、韓国のことは韓国でとの答弁に終始した。さらに、質問を続けようとしたが20名の会場係によって退場させられた」。会社側は、労働組合から出された質問書には何も答えなかった。来日した韓国オプティカルハイテック労組の仲間から「日東電工は韓国のことは韓国でと言っているが、全ての責任は日東電工本社にある。今日私たちは

帰りますが、この闘いはやめません。みなさん、共にがんばりましょう」。ひとくわ大きな拍手があった。

■最後に、おおさかユニオンネットワーク代表の西山さんから「私たちの団結を示すためにも集合写真を撮りましょう。」「韓国の中間は今日帰りますが私たちは引き続いだ日東電工に対して闘いをやめません。日韓連帯で闘うこと確認しましょう」と締めくくった。



韓国の中間は今日帰りますが私たちは引き続いだ日東電工に対して闘いをやめません。日韓連帯で闘うこと確認しましょう」と締めくくった。

ストライキを背景にした要求は恐喝？連帯ユニオン関生支部 ・湯川委員長への懲役10年求刑を許すな!!

- 6月17日京都地裁で、検察は京都3事件に関して、関生支部・湯川委員長と武前委員長共に懲役10年という前代未聞の重刑を求刑しました。検察は「ストライキを背景にした要求は恐喝」と憲法・労働組合法で保障された争議権を真向から否定しました。
- 京都3事件とは、①ベストライナー倒産事件の精算金を京都生コン協同組合に支払わせた。②近畿生コン事件の精算金を京都生コン協組に支払わせた。③村田建材の廃業・解雇に伴い、プラントの解体と1台のミキサー車を譲渡するよう要求した、3件です。
- 検察は、「本件まで・・暴力的実力行使は認められない」と認定しながら、「昭和の終わりから平成のはじめ・・多数の逮捕者が出了」とことや、アウトサイダー企業へのコンプライアンス（法令違反摘発）活動を理由に、「生コン協組は関生支部を恐怖していた」「関生支部はストライキを手段とし、組織の威力を背景に自らの要求に応じさせるスキームを確立」として「恐喝」と断定したのです。
- 検察は、ストライキを「労務供給義務の不履行」と限定し「プラント監視活動やストライキへの協力を呼びかけ」「長時間シユプレヒコールを上げる等迷惑かつ非常識な行動」「労働争議における精算金は裁判所や労働委員会等の公的機関が介入し積算根拠を検討すべき」ストライキは出荷妨害が目的」等述べる。だが労働関係調整法は、「争議行為とは、同盟罷業、怠業、作業所閉鎖その他・・業務の正常な運営を阻害するもの」としており、検察の主張は労組の団体行動権そのものを否定している。
- ベストライナーおよび近畿生コン事件の支払いは京都生コン協組の理事会の決定をもって行われているのです。
- 生コン業界を支配しているのは、独占セメントメーカーの拡販と、大手ゼネコンによる生コンの買い叩きそのモノです。
- 検察は「当時、生コンはダンピング競争

の結果、正常な価格からかけ離れた低額で販売され、経営状態は劣悪であった」としています。これこそ大手セメントメーカーの拡販路線と大手ゼネコンの買い叩きがもたらした現実だったのです。関生支部の産業政策運動は、中小企業者たる生コン製造会社の協同組合と連携して、過当競争と生コン買い叩きに対抗し、労働者の賃金の向上と雇用の確保を追及する労働運動であったのです。

■関生支部の産業政策運動は、賃金アップや雇用維持などについて、労組と中小企業は一面では激しく闘争するが、他方、適正な生コン価格の収受のために協同組合外からのアウト業者の新規参入による過当競争を抑止するという点では、生コン協同組合と労働組合の利害は一致し、共闘を行う運動でした。

■警察・検察は、このような労組と中小企業の共闘を破壊し、セメントメーカーとゼネコンが市場の自由な支配を行えるように、弾圧を行ったのです。

■会社が倒産して仕事を失った組合員たちは厳しい闘いの日々を送らざるを得ません。京都協組が組合に対してヤクザを利用して脅すこともありました。

■非暴力の労働組合活動が懲役の対象となるなら、日本の労働組合活動は壊滅させられてしまいます。厚生労働省の統計では、半日以上の争議の件数は1974年に9581件であったものが、2022年には65件に激減しています。

1980年代、ドイツ連邦労働裁判所の有名な判決は「ストライキ権を背景としない労使交渉は経営者に対する集団的な物乞いにすぎない」と判示しました。日本の労働者は関生支部への弾圧を見過ごすことで奴隸の道を歩んではなりません。全てのユニオンは関生の弾圧を全力阻止しなければなりません。（＊愛知連帯ユニオンの記事を無断で、短くさせて頂きましたことを、大変恐縮ですがお断り申し上げます）

長崎旅行記～元小林執行委と再会

◆ 8・9 ナガサキを前にして、小林元執行委員と長崎市で1年ぶりに会いました。長崎訪問は3回目です。神戸と同じ港町ですが、なかなか風情ある街です。できるだけ安くあげようとスカイマークで夜長崎空港につき、サウナに泊まりました。◆長崎空港は長崎市から1時間かかる大村にあります。空港対岸には、海陸の自衛隊基地と大村入管収容所があり、戦争を想定して設計されたと思われます。◆サウナは6時間3000円なので、5時にサウナを追い出され、しばし市内を散策、港の待合室で小林さんと合流です。◆最初に、長崎人権平和資料館（旧「岡まさる記念平和資料館」でしたが岡の性暴力事件があり、新たに再出発したそうです～運動内の性暴力事件は本当につらいものがあります）に行きました。

◆ここは在日韓国・中国人被爆者に焦点当てた平和資料館で、「被害の歴史」よりも「加害の歴史」の資料館です。「明治日本の産業革命」として世界遺産とされている”軍艦島”に強制連行され、三菱造船所で被曝した故徐正雨（ソ・ジョンウ）さんは、「絶対に逃げられない監獄島」であったと、日本政府・三菱と戦争責任を生涯かけて追及し続けたと言います。

◆3階建ての小さなビルですが、たまたま受付の年配女性（元高校の歴史教師）と小林さんが知り合いで、一時は右翼のヘイト

街宣カーの妨害や、櫻井よしこがわざわざ資料館をおとずれ「ここは原爆おたくの基地」と暴言を吐いていった話し（本当に下劣な人達だ！）や、平和運動の仲間がボランティアで苦労して運営してきた話しが聞けました。ソウルには安重根（アンジュングン・伊藤博文を「暗殺」した烈士）の立派な記念館が官民で運営されていますが、日本の平和記念館は本当に「貧しい」限りです。◆平和公園では、たまたま、反核平和の火のリレーの出発式に出会い、「原爆許すまじ」の曲が隣の被爆者協議会の鐘楼から鳴り、初めて長崎に原爆が落とされた時刻が11時02分であることを知りました。写真の長方形の塔の500m上空で原爆はさく裂しました。◆私は昔、『長栄逃亡』（吉村昭）の本（蘭学者高野長英が江戸幕府の鎖国政策を批判して投獄されるが脱獄して顔を焼いて逃亡する話し）に感激して、シーボルト館を訪れ、長栄が師シーボルトに提出した、お茶のレポート（これまた、細いめんそ筆でオランダ語と絵を使って綺麗に書かれている）をもう一度見たかったのですが、展示されていなくて（写真はシーボルトの処方箋）がっくりでした。◆長崎一番の繁華街・思案橋で、マグロのトロの刺身に舌鼓を撃ちビ

ールで乾杯し、小林さんと政治談議に花を咲かせました◆下の写真は、チンチン電車にユニオンの労働相談の案内です。思わずニヤリ。◆今朝（8・6）広島の式典がTVで流れましたが、核禁条約も批准せず「核の傘」を容認する岸田首相のメッセージは、小学生の平和宣言の足元にもおよばないうすっぼらい官僚作文でした。

